

平成30年度
香川県防災士会総会
議案書



日時 平成30年4月29日（日）
会場 香川県高松市番町1丁目10-35
香川県社会福祉総合センター7階大会議室

総 会 次 第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 来賓祝辞
4. 会議成立の確認
5. 議長選出
6. 議事録署名人の選出及び書記指名
7. 議事
 - 第1号議案 平成29年度事業報告および収支決算について
 - 第2号議案 平成30年度事業計画および収支予算について
 - 第3号議案 役員の変更について
8. 報告事項
 - 本部・各支部及び各部会活動報告
9. 議長解任
10. 連絡事項
11. 閉会

第 1 号議案 平成 29 年度事業報告および収支決算について

平成 29 年度事業報告

平成 29 年度は日本防災士会の活動理念に基づく「地域に根差した動く防災士」と平成 28 年度組織強化 PT の答申に基づく「実効性のある組織への変換」の二本柱を活動の目標として事業を実施した。また、設立 10 周年の節目の年にあたり、設立 10 周年記念行事を実施した。

I. <目標と実施>

【1、防災士としての知識、技術、技能の研鑽】

- ・地区防災計画策定に向けた支援の推進
 - 勉強会 4 回（平成 28 年度から計 8 回）開催した
- ・香川県自主防災活動アドバイザー派遣事業への継続参画（別紙 1-1）
- ・香川県教育委員会の学校防災アドバイザー派遣事業への継続参画（別紙 1-2、別紙 2）
- ・市町が補助金を拠出し養成した防災士のスキルアップを目指した研修会の継続推進
 - （例）東かがわ市、三木町では各年 6 回の研修会を開催（東讃支部）
- ・地域が必要とする防災減災のテーマに関して、防災士会のスキルを持って支援する

【2、組織の強化および広報の充実、強化】

- ・専門部会活動の活性化および具体提案の推進
 - 無線部会設立準備を行い、平成 30 年度から活動を開始する
- ・スキルアップ研修の内容充実と認定申請の促進
 - 気象台との合同研修を開催。香川大学が開催する勉強会などに参加
- ・四国支部連絡協議会の設立準備に取り組む
 - 準備会 H29 年 11 月 3 日実施 協議会 H30 年 1 月 28 日設立総会実施

【3、防災減災活動の支援】

- ・地域自主防災組織等と連携強化を図る
 - （例）弦打地区では、防災士が中心となり地区防災計画を作成
 - ・自主防災組織等からの要請に対応したスキルアップなどの支援および連携の強化
 - 町歩き防災マップ作りに協力、避難訓練、避難所設営訓練などを支援
- ##### 【4、防災減災啓発活動の推進】
- ・11 月 3 日に設立 10 周年記念式典、祝賀会を開催、記念冊子を発行（式典参加者 134 名）

今後の課題として以下の点を踏まえ、香川県防災士会の更なる発展を期したい。

II. <評価と今後の課題>

具体的活動として「支部活動の強化」「各地域における地区防災計画の策定支援」を重点目標に掲げ、実施したが、一部で目標未達成部分が残った。

「支部活動の強化」においては、一定の成果を上げた支部もある一方、支部事務局体制の整備等まだ不十分な支部も見られた。

「各地域における地区防災計画の策定支援」においては、成果を上げつつある地域も一定数あるが、香川県全体を考えるとまだまだ不十分である。内閣府「地区防災計画ガイドライン」、「防災白書」に協力団体として防災士会が記述されており、今後は各自治体、地域コミュニティに地域の防災士等を通じて、地区防災計画策定の重要性と地区防災計画策定は未来まちづくりの一環であること等をさらに普及啓発していく必要がある。「実効性のある組織への変換」については、道半ばでまだ課題が多く、今後の一層の取り組みが必要である。

シンポジウムや講演会の案内、地区防災計画勉強会の開催などが実施されたが、その参加に関しては個人任せであり、会としての組織的な活動が希薄であった。また、赤十字講習などの実技研修が減少していることや、研修実施時の役割分担などが明確化されていない部分も改善点としてあげられる。

事務局としての機能が脆弱であり、会報発行が中断となった。また、頒布品が届くまでに時間がかかった事例が発生した。今後組織全体の課題として取り組む必要がある。

平成29年度 収支決算報告

1. 収入の部

項目	29年度予算額	29年度決算額	増減	備考
会費	911,000	871,290	△ 39,710	H29年度229名、カレッジ部会、 H28年度7名・学生1名
入会費	200,000	235,000	35,000	H29年度 47名*5000円
事業収入	50,000	10,000	△ 40,000	防災活動謝礼
協力費	60,000	46,800	△ 13,200	日本防災士会より
雑収入	197	7,141	6,944	預金利息・祝賀会雑益
繰入金	0	0	0	
繰越金	883,803	883,803	0	前年度の繰越金
合計	2,105,000	2,054,034	△ 50,966	

2. 支出の部

項目	29年度予算額	29年度決算額	増減	備考
1. 事業費	921,000	800,366	△ 120,634	
(1) 活動費	700,000	579,366	△ 120,634	記念式典400,000円、HP管理委 託60,000円、SSL導入費20,000 円、広報・研修会
(2) 支部活動助成金	221,000	221,000	0	平成29年3月末会費振込済 会員数に応じて(221名)
2. 会議費	60,000	49,448	△ 10,552	総会会場費・湯茶等
3. 事務運営費	475,000	491,336	16,336	
(1) 事務費	120,000	120,000	0	事務局維持費
(2) 消耗品費	50,000	66,783	16,783	事務消耗品
(3) 印刷製本費	40,000	11,340	△ 28,660	総会・研修会資料印刷
(4) 通信費	60,000	100,613	40,613	総会資料・会報発送等
(5) 旅費	30,000	7,800	△ 22,200	支部長会議参加等交通費補助
(6) 需品購入費	175,000	174,800	△ 200	防災士帽子等購入
(7) 団体負担金	0	10,000	10,000	四国連絡協議会会費
4. 役務費	153,000	131,146	△ 21,854	
(1) 傷害保険	150,000	130,000	△ 20,000	ボランティア保険 500円×260人
(2) 振込手数料	3,000	1,146	△ 1,854	会費振込手数料
5. 予備費	496,000	18,577	△ 477,423	会費返金・販促品購入費等
合計	2,105,000	1,490,873	△ 614,127	

差引

563,161

次年度 繰り越し金

香川県防災士会ポロシャツ会計明細書

平成30年3月31日

年	月	日	摘 要	仮払い	収入	支払い	残 高	備 考
H28			H28年度追加注文		2,300		2,300	
H29	6	1	H29年度注文		57,100		59,400	
		23	本会計より立替払い	68,277			127,677	
			プラスワンインターナショナル支払い			67,953	59,724	
			振込手数料			324	59,400	
	12	12	不足分		300		59,700	
			本会計に戻入			68,277	-8,577	
			本会計から補填		8,577		0	本会計雑収入で計上
					68,277		0	

香川県防災士会ヘルメット会計明細書

平成30年3月31日

年	月	日	摘 要	仮払い	収入	支払い	残 高	備 考
H29			H29年度売上10個		20,000		20,000	
	10	31	ツナグ防災支払			20,000	0	
					20,000		0	

会計監査報告書

平成30年4月 日、平成29年度香川県防災士会の収支決算書について、預金通帳、関係諸帳簿を監査した結果、いずれも正確適正であることを認めます。

平成30年4月29日

監 事

氏 名

友國和俊
関口一幸



第2号議案 平成30年度事業計画および収支予算について

平成30年度事業計画(案)

平成30年度事業(活動)計画(案)

平成28年度から2年間かけて実施した「地区防災計画」研修会成果を基に、各地域での策定・支援を第一に掲げ「地域に根差した動く防災士」と「実効性のある組織への変換」を活動方針とし事業を展開する。

具体的活動としては、防災関係機関が実施する各種事業に継続参画し、関係機関との連携を図る。また「支部活動の強化」「各地域における地区防災計画の策定支援」の未達成部分の解決に努力する。

【1、防災士としての知識、技術、技能の研鑽】

- ・香川県自主防災活動アドバイザー派遣事業への継続参画
- ・香川県教育委員会の学校防災アドバイザー派遣事業への継続参画
- ・市町が補助金を拠出し養成した防災士のスキルアップを目指した研修会の継続推進

【2、組織の強化および広報の充実、強化】

- ・会員への情報発信並びに共有の強化と活動への参加促進
- ・各支部を含めた事務局体制の強化を図るため事務局会議を継続
- ・専門部会活動の活性化および具体提案の推進
- ・スキルアップ研修の内容充実と認定申請の促進
- ・防災士会四国支部連絡協議会に取り組む
- ・必要に応じて関係支部長会議を開催する。

【3、防災減災活動の支援】

- ・地区防災計画、地域が必要とする防災減災訓練・事業等の推進・支援等
- ・地域自主防災組織等と連携強化

【4、防災減災啓発活動の推進】

- ・関係機関との連携を図る（香川大学、行政機関、日本赤十字社香川県支部、社会福祉協議会等）

スケジュール（予定）（注）スキルアップ研修については開催日時、場所等は後日連絡。

時 期	場 所	対 象 者	内 容
月1回		三 役	
年4回 第2金曜日	随時検討	役 員 支部長	支部活動報告 役員会
6 初旬	香川大学	事業登録 希望者	平成29年度学校防災アドバイザー派遣事業事前説明会
			气象台との合同研修
			学校防災アドバイザー研修
			自主防災活動アドバイザー
			担架搬送・応急手当
			地区防災計画関連研修
			避難所運営訓練

※開催日については、変更になる可能性有

平成30年度 収支予算書 (案)

1. 収入の部

項目	30年度予算額	29年度予算額	増減	備考
会費	940,000	911,000	29,000	3000円×310名、カレッジ部会
入会費	250,000	200,000	50,000	5000円×50名 (新規会員)
事業収入	50,000	50,000	0	防災活動謝礼
協力費	60,000	60,000	0	日本防災士会より1200円×50名
雑収入	0	197	△ 197	預金利息
繰入金	0	0	0	
繰越金	563,161	883,803	△ 320,642	前年度の繰越金
合計	1,863,161	2,105,000	△ 241,839	

2. 支出の部

項目	30年度予算額	29年度予算額	増減	備考
1. 事業費	451,000	921,000	△ 470,000	
(1) 活動費	200,000	700,000	△ 500,000	H P 管理委託60,000円、 広報・研修会
(2) 支部活動助成金	211,000	221,000	△ 10,000	平成30年3月末会費納付会員 211名×1,000円
(2) 部会活動助成金	40,000	0	40,000	女性部会、無線部会各20,000円
2. 会議費	60,000	60,000	0	役員会・総会経費
3. 事務運営費	525,000	475,000	50,000	
(1) 事務費	120,000	120,000	0	事務局維持費
(2) 消耗品費	50,000	50,000	0	事務消耗品
(3) 印刷製本費	20,000	40,000	△ 20,000	総会資料作成
(4) 通信費	120,000	60,000	60,000	総会資料・会報発送等
(5) 旅費	30,000	30,000	0	支部長会議等交通費補助
(6) 需品購入費	175,000	175,000	0	防災士帽子等購入
(7) 団体負担金	10,000	0	10,000	四国連絡協議会会費
4. 役務費	155,000	153,000	2,000	
(1) 傷害保険	155,000	150,000	5,000	ボランティア保険500円×310名
(2) 振込手数料	0	3,000	△ 3,000	会費振込手数料
5. 予備費	672,161	496,000	176,161	慶弔費、謝礼、会費等返金
合計	1,863,161	2,105,000	241,839	

8 報告事項

本部・各支部報告及び各部会報告

- ・東讃支部 ・高松北支部 ・高松西支部 ・高松南支部 ・坂出宇多津支部 ・中讃支部 ・西讃支部
- ・設立 10 周年記念式典
- ・カレッジ部会 ・女性部会
(別紙 3)

9 議長解任

10 連絡事項

11 閉会